

## リチウムイオン電池を内蔵したモバイル機器における

## 火災防止の安全啓発 HP 公開について

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(以下「MCPC」)は、スマートフォンやモバイルバッテリー、携帯型扇風機(ハンディファン)などのモバイル機器における火災防止の安全啓発ホームページ(以下 HP)を公開しました。

(HP URL: [https://www.mcpc-jp.org/LiBat\\_2025Win/](https://www.mcpc-jp.org/LiBat_2025Win/))

(HP 抜粋)



MCPC では、環境省の「リチウムイオン電池による火災防止強化キャンペーン」に賛同し、通信事業者/モバイルバッテリーの会員企業と共に LiB パートナーとして、安全啓発活動に取り

組んでおります。

安全な選び方と捨て方における注意ポイントを纏めておりますので参考にいただければと存じます。

#### ●ご購入時に注意いただきたいポイント！

独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）は、ネット購入品の事故増加の状況から、リチウムイオン電池搭載製品をインターネット購入する際、高リスクな製品を購入しないために気を付けることとして、

- ①『他の製品と比べて極端に安価ではないか』
- ②『信頼できる販売元かどうか（国内の連絡先が存在するか）』
- ③『「PSE 等の PS マーク」の近くに事業者名があるか』
- ④『 廃棄する方法はあるか』

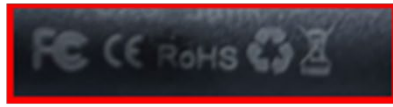
を確認することを提唱しています。

また経済産業省にて、インターネットを通じて販売を行う海外事業者への規制強化を行い、お客様が安全に使用できる環境を整備することを目的とした製品安全 4 法の改正が 12 月 25 日に施行される予定です。インターネット取引における製品の安全性確保のため、ネットパトロールも実施されています。安全基準への適合を確認するために電話やメールで複数回連絡しても回答がない企業が「連絡不通事業者」として公表される予定です。

MCPC では、KDDI 株式会社様、京セラ株式会社様と合同でインターネットにて購入できる比較的安価な「モバイルバッテリー」、「メーカー純正品ではないスマートフォン交換用の電池パック」について、品質の確認を行いました。

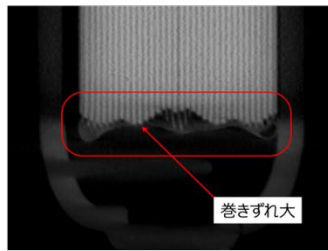
その結果、「電池内部の電極に巻きずれがあるもの」や、「電池表面に錆があるもの」、「導線が絡んで組み込みされているもの」さらに「表示が必要な PSE マークが本体にないもの」など、品質に問題がある製品が複数確認されました。

【電池外観】



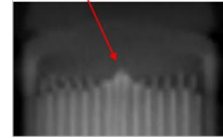
①本体にPSEマークがない

【X線確認】



②電極の巻きずれ (X線写真)

巻きずれ (X線写真)



(参考) 巻きずれがないもの (X線写真)

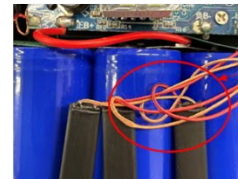
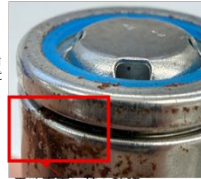


【分解確認】

モバイルバッテリーの内部に搭載されていた円筒型電池



③電池表面に錆



④導線が絡んで組み込みされている

確認した結果を電極の巻きずれなど、リチウムイオン電池に詳しい信州大学 是津教授に解説頂いております。(詳細は記事を参照ください。)



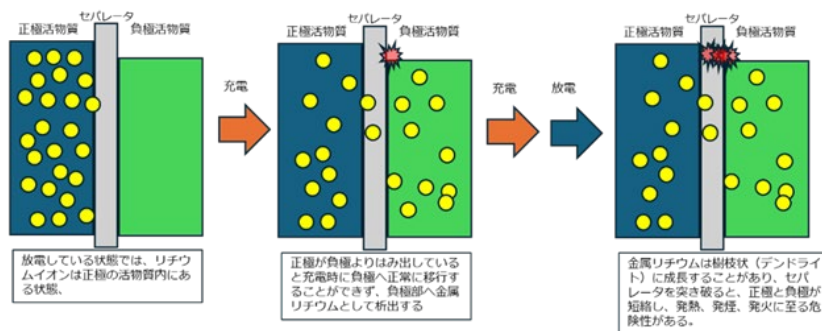
リチウムイオン電池に詳しい

信州大学 是津教授

(解説抜粋)

巻きずれがあった場合、リチウムイオンの化学反応がうまくできない箇所が発生し、析出物が蓄積することで事故のリスクが高まります。(下記参照)

■巻きずれが大きく正極が負極より大きい場合 (メカニズムイメージ)



リチウムイオン電池の品質が不十分な場合、火災(発火・発煙)の事象の可能性がありますので  
ご注意ください。

【MCPC マークも確認しよう！】

モバイルバッテリーを購入する際は、PSE マークが付いているか必ずご確認ください。

MCPC マーク★も安全を見極める目安になります。

★MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム)が策定する、基本機能、安全性などの自主的なガイドラインに基づく  
評価試験に合格した製品に表示されるマークです。



●リコール品にもご注意！

リコール品へも注意が必要です。リコール品については、消費者庁のリコール情報サイト  
(<https://www.recall.caa.go.jp/>)

にて製品の検索を行うことができます。

モバイルバッテリーについては、「【特集】モバイルバッテリー - 注意喚起」ページに一覧が記載  
されています。(<https://www.recall.caa.go.jp/result/detail.php?rci=00000034421&screenkbn=01>)  
普段お使いでないモバイルバッテリー(しまったままのものなど)についても対象品でないか確認  
をお願いいたします。

●MCPC のモバイルバッテリー品質向上の取組

MCPC では昨今のモバイルバッテリーの事故やリコールの状況、ネット品購入確認結果から、品  
質向上を目的にモバイルバッテリーの設計・品質を規定しているガイドラインの改定を予定してお  
ります。

改定内容は、現在規定している「PSE 認証、充電制御・保護、筐体の難燃性などに関する基準」  
に加え、リチウムイオン電池の製造品質向上や(例:サプライヤーへの管理強化、トレーサビリティ  
の強化、X 線検査確認強化など)、アフター体制の状況確認を予定しております。

確定次第、HP にてご案内させていただきます。これからも会員企業さまとともに安心・安全の取  
組を推進してまいります。



## ●リチウムイオン電池の正しい捨て方！廃棄時に注意いただきたいポイント

### ①誤った廃棄方法で捨ててはダメ！！

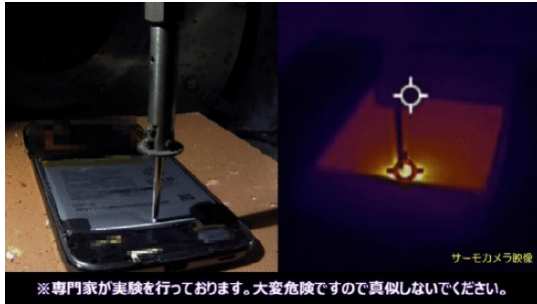
・誤った廃棄方法で捨てられることによって、ゴミ焼却場や収集車で出火する火災も発生しており、ごみ処理過程における被害額や件数が増加傾向にあります。廃棄・処分する場合は、必ず自治体のウェブサイトなどを確認し、指定された方法で処分してください。

### ②リチウムイオン電池を本体から取り出せない場合があります！

・モバイルバッテリー、ワイヤレスイヤフォン、携帯型扇風機（ハンディファン）、スマートフォンなどは、本体から取り外しができない場合があります。取り外そうとして無理に分解しないでください。分解の際に発火・発煙する可能性があります。

### ③できるだけ、使い切った状態（充電がされていない状態）で排出しましょう！

・専用 BOX へ廃棄する際は、端子部を絶縁テープで処理し、充電を使い切った状態（放電状態）で排出するようにしましょう。リチウムイオン電池は、放電された状態のほうが発火・発煙のリスクが比較的低くなります。



【KDDI】<[www.youtube.com/watch?v=TPZsUXm6SEM](https://www.youtube.com/watch?v=TPZsUXm6SEM)> 【JBRC】<[www.youtube.com/watch?v=551wvJXYaGA](https://www.youtube.com/watch?v=551wvJXYaGA)>

・携帯型扇風機＜ハンディファン＞の処分方法も掲載しております。（詳細は記事を参照ください。）

●リチウムイオン電池搭載製品にて、異常を感じたら・万が一事故が発生してしまった場合の対応方法についてもリチウムイオン電池に詳しい信州大学 是津教授に解説頂いております。（詳細は記事を参照ください。）

●通信事業者・モバイルバッテリーベンダーにて、やってはいけない具体的事例や廃棄方法など各社オウンドメディアでの記事を参考にしてください。



#### 【MCPC について】

MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 会長:安田 靖彦)は、業界の枠を超えてモバイルコンピューティングを普及促進することを目的とし、1997 年に発足した任意業界団体です。スマートフォン等の USB 充電インタフェース安全設計ガイドラインおよび、モバイル機器安全設計ガイドライン、端末インターフェースガイドライン、Bluetooth 関連ガイドラインなど多数の標準化作業をはじめ、「IoT システム技術検定」、「モバイルシステム技術検定」、「ワイヤレス IoT プランナー検定」、「ローカル 5G 実践研修講座」などを通して、モバイル、IoT/AI の普及拡大に貢献しております。

MCPC 加盟企業・団体 166 社(2025 年 12 月 1 日現在) <http://www.mcpc-jp.org>

「本件に対する問合せ先」

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)事務局

所在地:〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-12 長谷川グリービル 2F

電話:03-5401-1935

E-Mail: [office@mcpc-jp.org](mailto:office@mcpc-jp.org)

リリース文 pdf はこちらです。 < [https://www.mcpc-jp.org/press/pdf/press\\_20251212\\_1.pdf](https://www.mcpc-jp.org/press/pdf/press_20251212_1.pdf) >

